

受け継いだ文化 進化する芸術



1 団員たちは、勇気を持つ大切さを全身を使った迫真のパフォーマンスで演じ切った。2 引越前夜、押し入れから見つけた望遠鏡で星をのぞくアカリ。3 のぞいた星に吸い込まれ、たどり着いた先は今にも消えそうな星「UME」。そこで、「UME」の住人ハッピーと出会う。4 存在を消し去る「無」の嵐が「UME」を襲い、みんなを助けるためハッピーが消えてしまう。5 アカリにこの星やハッピーを救ってほしいと頼む「UME」の住人。6 「UME」の住人と冒険の旅に出る決意をする。7 アカリは忘れてはいけない大切な思い出があったことに気付く。8 大切な思い出とともに、ハッピーがよみがえり、「UME」が活気を取り戻す。



市内の小中高生を中心に活動するミュージカル劇団「ドリーム☆キッズ」の第17回公演「ほし☆きらりっ！～私のいちばん星～」(市、市教育委員会、公益財団法人登米文化振興財団主催)は9月7、8の両日、登米祝祭劇場で開かれ、詰め掛けた大勢の観客を魅了した。



支えてくれた人たちに感謝

オーディションで主役の「アカリ」に決まりました。「アカリ」の感情的な性格は自分にはない部分なので、台本を読み込み、先生にアドバイスをもらいながら役を作り上げました。一人のシーンは自分だけで考えればいいのですが、みんなとのシーンはそうはいきません。小学生から高校生までのメンバーがそろって練習できる日が少ない中、いい舞台にするために、みんなとたくさん話し合いました。本番は練習の成果を全部出すことはもちろん、今まで支えてくれた人たちに感謝の気持ちを込めて演じました。

ドリーム☆キッズは第2の家族。公演後は練習が減ってしまうので「ドリキロス」になるほど大好きな場所です。

「アカリ」を演じた
菊地 真央さん

佐沼中3年
(迫町光ヶ丘東)

9年間の全てを出し切る

受験生なので「今回の公演が一区切り。とにかく楽しむ」をモットーに挑みました。入団9年目で初めての大役。覚えることが多くて難しそうと思っていた6月上旬、腰を骨折して8月中旬まで見学の日々。焦りもありましたが、復帰すると、役が体に染み込んでくる感覚があり、楽しみながら稽古できました。

「ハッピー」は明るく元気な役。その分、シリアスなシーンでは気持ちの切り替えが難しく、ひたすら稽古に打ち込みました。稽古の日々をかみしめながら、9年間の全てを出し切ろうと本番を迎えました。見に来てくださった人に「勇気を持つことの大切さ」が伝わっていただければいいなと思います。



「ハッピー」を演じた
加藤 つばささん

佐沼中3年
(迫町鉄砲丁)

Interview



(右)阿部 都美子さん
(左)真由紀ちゃん
迫町中江

今回が3作品目の鑑賞になります。演出も舞台装置も本格的で、来るたびに子どもたちのレベルが上がっていてびっくり。頑張り伝わりますね。孫にも芸術に触れてほしくて、今日は一緒に見にきました。

(左)大場 大悟さん
迫町大網南
(右)但木 智至さん
南方町大門



学校の同級生が出演しているので見に来ました。クライマックスに近づくにつれ、隠されていた謎が明らかになると気持ちが高まりました。最後の歌やダンスは迫力があって感動しました。

練習量は自信となり、本番では堂々と演じ、歌い、観客を魅了する団員たち。2時間のミュージカルは、あつという間にフィナーレを迎えた。客席からは大きな拍手が送られ、舞台は大盛況のうちに幕を閉じた。

舞台はキャストだけでは成り立たない。舞台道具や衣装製作などのスタッフに支えられ、見に来てくれる人たちがいてこそ成功する。

17回もの公演を成功させてきたドリーム☆キッズ。団員が入れ替わっても、培われたものは引き継がれ、磨かれ、新たな力となり、これからも進化していく。

「あの子も黙って引越しちゃったな」。忘れていた思い出がよみがえろうとした時、のぞいていた星から強い光が放たれ、吸い込まれてしまふ。着いた所は、今にも消えそうな星「UME」。この星を救うため、「忘れてはいけない大切な事」を探す冒険が始まった。

—あらすじ—

引越前夜、中学2年のアカリは星空を眺めていた。友達に別れを言えず、準備が進まないのだ。押し入れから見つけた紙の望遠鏡をのぞいてみる。5年前、親友だったクルミちゃんがくれたものだ。

午後6時。観客で埋め尽くされた会場の照明が消え、ステージが青いライトに包まれると、舞台が幕を開けた。

2019年9月7日午後4時。最後の練習となる通し舞台稽古を終えた団員たちは、「いよいよ本番。みんなへの感謝と毎日の練習の成果を全力で出し切ろう」と気合いを込めた。渡部さんも「君たちの中にある熱い気持ちに、精一杯の感謝を込めて表現してきてください。本番、頑張ろう」と送り出した。



9 夏休み返上で練習に励む団員たち。10 11 役者のヘアメイクや舞台の小道具の製作は団員OGや保護者が担当。12 新しくなった音響設備が舞台を盛り上げる。13 団員OGは会場案内やアンケートの回収なども担う。14 会場は市内外から訪れた親子連れなどで満席。2日間で1062人が訪れた。15 舞台終了後、観客を見送る団員たち。笑顔がはじける。